

# 関西大学大学院 人間健康研究科 論文執筆要項

2015 年 9 月 30 日制定

2017 年 3 月 9 日改訂

2019 年 4 月 10 日改訂

2019 年 7 月 10 日改訂

この要項は、人間健康研究科修士論文及び博士論文の執筆にかかる書式等について、次のとおり定めます。

## 1 題目

題目は、和英文ともに研究の内容を的確に表現しうるものであることが必要です。

副題をつける場合には、和文はダッシュ（―）で、英文はコロン（:）で続けてください。

なお、英文タイトルの最初の単語は、品詞の種類にかかわらず第 1 文字を大文字にし、その他は、固有名詞など、特に必要な場合以外はすべて小文字とします。

## 2 表紙と目次

表紙と目次については、書式を別に定めます。

## 3 本文

### (1) 符号

次のような符号を用いることができます。

ア ピリオド（.）及びコンマ（,）、又は、点（.）及び丸（.）

イ 中黒（・）

相互に密接な関係にあって、一体となる文字や語句などを結ぶ際には中黒（・）を用います。アルファベット文字を用いた用語には、中黒は使えません。

〔例〕○「スポーツ・マネジメント」 ×「B・C（紀元前）」→○「B.C.」

ウ ハイフン（-）

これは対語・対句の連結、合成語、ページの表記に用い、半角とします。

エ ダッシュ（―）

全角 1 文字分のダッシュ（―）は期間や区間を示すのに用います。波ダッシュ（〜）は原則として用いません。全角 2 文字分のダッシュ（――）は注釈的な説明するのに用います。

オ 引用符は、和文の場合には「」を、英文の場合には“”を用います。

カ コロン（:）

副題（英文の場合のみ）、説明、引用文などを導く場合に用います。

キ セミコロン（;）

複数の文献が連続する場合に用います。

ク 省略符（…）

引用文の一部あるいは前後を省略する場合は、和文の場合には 3 点リーダー（…）、英文の場合には下付の 3 点リーダー（...）用いてください。

### (2) 数字

ア 数を表示する場合は、原則としてアラビア数字を用いてください。

イ 文字や記号の隅につける添え字はその位置に明瞭に表記してください。

### (3) 単位

計量単位は、原則として、国際単位系（SI 単位系）とします。

#### (4) 略語

論文中において高い頻度で使用する用語に対して、著者が便宜的に省略した語を用いる場合は、初出時に略さず明記し、(以下「…」と略す)と添え書きしてから、以後その略語を用いるようにしてください。

#### (5) 注記

注は本文あるいは図表で説明するのが適切ではなく、しかも補足的に説明することが明らかに必要なときにみに用います。その数は最小限にとどめてください。注をつける場合は、本文のその箇所に注 1)、注 2)のように通し番号をつけ、本文と論文末の文献表との間に一括して番号順に記載します。注記の見出し語は「注」とします。

#### (6) 特殊文字

##### ア ゴシック

ゴシックは見出し語のみに使用し、本文中の特定語句を強調するためのゴシック体の使用はさけてください。

##### イ イタリアック

次の場合にはイタリアック体を使用することができます。

- ・ 数式中の数
- ・ 数値や量
- ・ 統計法に用いられる記号
- ・ 動物・植物の学名

ただし、本文中の欧語を強調するためにイタリアック体を使用することは、引用の場合などを除いて避けてください。

### 4 図表の作成

図表を作成する場合のフォントの大きさは、和文の場合は明朝体 8 ポイント、英文の場合はセンチュリー体 9 ポイントを目安としてください。図題、表題、それらの見出しや説明文、注は、同一論文で和文と英文の併用をさけてください。なお、表注は表の下に一つ一つ改行し、注符号は上つきダガーで†、††、†††などの順に使い、アスタリスク(\*、\*\*、\*\*\*)は統計学上の有意水準を示すときにのみ用いるものとします。

### 5 文献表の作成

別表 1 又は別表 2 に示す方式のいずれかを選択し、作成してください。

#### 別表 1 (ハーバード方式を主として用いる場合)

- 1 本文中で文献の一部を直接引用するときは、引用した語句又は文章を、和文の場合には「」、英文の場合には“ ”でくくります。引用元のページについても、必要に応じて、下のように明示してください。なお、引用が複数ページにまたがる場合は、「23-24」のように半角ハイフンで最初と最後のページを結んで示してください。

[例]

- (1) 「パンとバラの時代のスポーツ」(長州, 1998 : 128) という標語は….
- (2) “interpretive cultural research”(Harris, 1998 : 23-24) の視点....

- 2 著者が 2 名の場合、和文の場合には中黒(・)、英文の場合には“and”を用いてつなぎます。ただし、著者が 3 名以上の場合、筆頭著者の姓の後に、和文の場合には「ほか」、英文の場合には“et al.”を用います。複数の文献が連続する場合はセミコロン(;)でつなぎ、筆頭著者のアルファベット順を優先して列挙します。

[例]

- (1) 「…」(竹下・原宿, 1998) という結論は….
- (2) “…” (Park and Harris, 1998) という考え方には….
- (3) 「…」(井頭ほか, 1998) という結論は….
- (4) “…” (Harris et al., 1998) の視点は….
- (5) …との見解が多い(岸, 1998 ; 渋谷・竹下, 1987 ; 宇田川ほか, 1996, 1998).
- (6) 身体活動の減少は心疾患危険因子を増加させるという報告 (Morris et al., 1980; Paffenbarger et al., 1978)

3 本文中で参照した文献を明記する場合には、次のような形で著者名と発行年を記入します。同一著者の文献が複数ある場合には、括弧内の発行年をコンマ (,) でつなぎます。同一著者の同一年に発行された複数の論文は発行年の後に a, b, c, …をつけて区別します。

[例]

- (1) 岸ほか (1998) によれば….
- (2) 宇田川 (1996, 1998) による一連の研究では….
- (3) 渋谷・竹下 (1987) によれば….
- (4) Butt (1998) 及び Park and Harris (1987) の見解は….
- (5) Bloom et al. (1951) によれば….
- (6) Harris (1995, 1997a, 1997b) の一連のフィールドワークでは….

4 翻訳書の著者を表記するときは、カタカナ表記とします。

[例]

- (1) マイネル (1975) は…。このマイネルの概念….

5 翻訳書と原著の両方を引用したときには、翻訳書は上記 (4) に従って記入します。原著は英文表記とします。

[例]

- (1) マカルーン (1970) によれば…。しかしながら、マカルーン (1970) のクーベルタン論では…。一方、MacAloon (1971, 1972, 1980) の一連の著作では….

6 WEB サイト (いわゆるホームページ) や WEB サイトに掲載されている PDF ファイルなどを参考文献とする場合は、(著者名、発行年) 又は (著者名、online) のように表記します。発行年やファイル名が特定できない場合は、(著者名、online) と表記します。同一著者の同一年に複数の WEB サイトが掲載された場合は、発行年の後ろに a, b, c, …をつけて区別し、発行年が特定できない場合は文献リストの表示順 (1, 2, 3, …) をつけて区別します。

[例]

- (1) 神奈川県立体育センター指導研究部 (2006) の調査では、…
- (2) との報告がある (科学技術振興機構, online1)。一方で、科学技術振興機構 (online2) によれば、…
- (3) との報告がある (U.S. Department of Health and Human Services, online)。

7 文献表の作成

文献表の見出し語は「文献」とします。文献の記載は原則として著者名のアルファベット順とし、書誌データには通常、著者名・発行年・題目 (書名)・誌名・出版社・ページなどの情報が含まれます。書式は下記の例にならってください。

(1) 定期刊行物 (いわゆる雑誌) の書き方

定期刊行物の場合の書誌データの表記は、著者名 (発行年) 論文名。誌名、巻 (号) : ページ。の順とします。

#### ア 著者名及び発行年

共著の場合、和文の場合には中黒（・）、英文の場合には“and”で続けます。ただし、英文で 3 人以上の場合にはコンマ（,）でつなぎ、最後の著者の前だけに“and”を入れます。発行年は著者名のすぐ後の（ ）内に記入し、論文名と区切ります。著者名の前に番号は不要です。同一著者、同発行年の複数の論文を引用した場合は年号の後に a, b, c, …をつけます。

[例]

(ア) 原宿健夫・岸 康夫・渋谷太郎 (1990)

(イ) Hall, M. A., Cullen, D., and Slack, T. (1989)

(ウ) Ragenden, G. (1997a) Ultrasound Doppler estimate...

(エ) Ragenden, G. (1997b) Muscle blood flow at the onset...

#### イ 論文名

論文名の最後はピリオド（.）を打ちます。英文では、題目の最初の文字だけを大文字にします。

#### ウ 誌名

和文誌の場合は略記せず、必ず誌名全体を記載してください。英文誌の場合は、その雑誌に指定された略記法、又は広く慣用的に用いられている略記法に従います。それ以外は省略しないでください。誌名の最後はコンマ（,）をつけてください。

#### エ 巻号及びページ

巻数の後にコロン（:）をつけ論文の開始ページと終了ページを省略しないでハイフン（-）で結び、最後にピリオド（.）を打ちます。同一巻が通しページとなっていない場合には、号数を（ ）で巻数の後に示します。

[例]

(ア) Sloniger, M.A., Cureton, K.J., Prior, B.M., and Evans, E.M. (1998) Anaerobic capacity and muscle activation during horizontal and uphill running. *J. Appl. Physiol.*, 83: 262-269.

(イ) Harris, J.C. (1989) Suited up and stripped down: Perspectives for sociocultural sport studies. *Sociology of Sport J.*, 6: 335-347.

(ウ) Neumann, M. and Eason, D. (1990) Casino world: Bringing it all back home. *Cultural Studies*, 4(1): 45-60.

(エ) 関 修 (1990) ストレスを癒すフィジカル・エクササイズ. *イマーゴ*, 1(6): 172-181.

(オ) 立石憲彦 (1990) 微小血管における赤血球からの酸素の放出速度の測定－装置の開発とラット腸間膜での測定－. *日本生理学雑誌*, 52: 23-35.

#### オ 早期公開論文

正式に発刊される前の早期公開論文を引用する場合は、以下の例を参照し、巻（号）、ページの代わりに Digital Object Identifier（略称 DOI）を記載してください。発行年は、早期公開年です。

[例]

(ア) 角川隆明・高木英樹・仙石泰雄・椿本昇三 (2012) 平泳ぎ泳パフォーマンスと圧力分布から推定した足部流体力との関係. *体育学研究*, doi: 10.5432/jjpehss.12003

#### (2) 単行本の書き方

書き方の原則は定期刊行物の項に従ってください。

##### ア 単行本全体の場合

著者名（発行年）書名（版数、ただし初版は省略）。発行所、引用ページの形式とします。なお、引用箇所が限定できない場合には、ページは省略します。また、編集（監修）書の場合には、「編」、「監」、あるいは「編著」と表記します。英文

では編集者が 1 人の場合は (Ed.)、複数の場合は (Eds.) をつけます。

[例]

(ア) 保健体育科学研究会編 (1981) 保健体育教程 (新訂版). 技術書院, 17-22.

(イ) Butt, D.S. (1987) Psychology of sport: The behavior, motivation, personality, and performance of athletes (2nd ed.). Van Nostrand Reinhold, 12-13.

(ウ) 山口昌男編 (1987) 越境スポーツ大コラム. TBS ブリタニカ.

(エ) Chu, D., Segrave, J.O., and Becker, B.J. (Eds.) (1985) Sport and higher education. Human Kinetics.

#### イ 単行本の一部の場合

論文 (章) 著者、論文 (章) の題名の後に編集 (監修) 者名と「編」、「監」、「編著」などをつけます。英文の場合には、“In:” をつけたあと編集 (監修) 者名と (Ed.)、又は (Eds.) をつけます。

[例]

(ア) Moony, J. (1983) The Cherokee ball play. In: Harris, J.C. and Park, R.J. (Eds.) Play, games and sports in cultural contexts. Human Kinetics, 259-282.

(イ) 新島龍美 (1990) 日常性の快楽. 市川 浩ほか編, 技術と遊び. 岩波書店, 355-426.

#### ウ 翻訳書の場合

原著者の姓をカタカナ表記し、その後ろにコロン (:) をつけて訳者の姓名を記入します。共訳の場合は中黒で、訳者が 3 人以上の場合は「: …ほか訳」と省略して筆頭訳者だけ記入します。英文の翻訳書の場合、原著の書誌データは執筆者が必要と判断した場合に最後に < > 内に付記します。

[例]

(ア) ブルーム: 菅野盾樹ほか訳 (1988) アメリカン・マインドの終焉. みすず書房. < Bloom, A. (1987) The closing of the American mind. Simon & Schuster. >

### (3) WEB サイトの場合

WEB サイト (いわゆるホームページ) や WEB サイトに掲載されている PDF ファイルなどを参考文献とする場合、「URL が変更される」「内容が変更される」「WEB サイト自体が閉鎖される」「文責が曖昧である」などの問題があります。そこで、WEB サイト上の資料は、①他に参照可能な公刊物 (書籍や学術雑誌等) がないことの確認、②著者名と題目及びサイトの名称の確認、③参照時の URL 及び日付の記録、④内容の適切な保存 (当該ページのプリントアウト等) を行った上で用いてください。

そして、文献表には「著者名 (発行年) WEB ページの題目、WEB サイトの名称、URL、(参照日)」をできる限り詳細に記載してください。なお、学術団体等が発行する電子ジャーナル、例えば日本体育学会が発行する “International Journal of Sport and Health Science” などは、「(1) 定期刊行物」としてあつかいます。

[例]

ア 神奈川県立体育センター指導研究部 (2006) 学校体育に関する生徒児童の意識調査—中学生の意識.

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/40/4317/sidoukenkyubu/kenkyusitu/kenkyu/h18-1.pdf> (参照日 2010 年 12 月 8 日) .

イ 科学技術振興機構. 科学技術情報流通技術基準: 目的別メニュー: 文献を引用したい. [http://sist-jst.jp/menu\\_purpose/index.html](http://sist-jst.jp/menu_purpose/index.html), (参照日 2011 年 4 月 11 日).

ウ U.S. Department of Health and Human Services. SF424 (R&R) Application

and Electronic Submission Information.

[http://grants.nih.gov/grants/funding/424/SF424\\_RR\\_GUIDE\\_SBIR\\_STTR\\_Adobe\\_VerB.pdf](http://grants.nih.gov/grants/funding/424/SF424_RR_GUIDE_SBIR_STTR_Adobe_VerB.pdf), (accessed 2011-07-01).

## 別表 2 (バンクーバー方式を主として用いる場合)

- 1 文献は本文の引用箇所の肩に<sup>1)</sup>, <sup>1~5)</sup>, <sup>1,3~5)</sup>などの番号で示し、本文の最後に一括して引用番号順に記載してください。文献の著者が3人までは全員、4人以上の場合は3人までを挙げ、4人目以降は省略して、3人の著者名+『、他.』としてください。英文の文献で著者が4人以上の場合は、3人の著者名+『、et al.』としてください。
- 2 記載方法は下記の例に従ってください。
  - (1) 雑誌の場合  
著者名. 表題. 雑誌名 発行年 (西暦); 巻: 頁-頁.  
ア 玉腰暁子, 武藤香織. 多施設共同疫学研究における中央事務局業務: 実態の類型化と今後の標準化にむけて. 日本公衆衛生雑誌 2013; 10: 631-638.  
イ Liu T, Howard RM, Mancini AJ, et al. Kwashiorkor in the United States: fad diets, perceived and true milk allergy, and nutritional ignorance. Arch Dermatol 2001; 137: 630-636.
  - (2) 単行本の場合  
著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地: 発行所. 発行年 (西暦); 頁-頁.  
ア 中村正和. 特定健康診査・特定保健指導における禁煙支援の意義と方法. 大井田隆, 中村正和, 尾崎哲則, 編. 特定健康診査・特定保健指導における禁煙支援から始めるたばこ対策. 東京: 日本公衆衛生協会. 2013; 103-123.  
イ Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern Epidemiology. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins. 2008; 258-282.
  - (3) インターネットのサイトを参考文献とする場合は、他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用してもよいこととします。この場合は、サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに、アクセスした年月日も付記してください。  
ア 厚生労働省. 平成 21 年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況 (速報値) について. 2011.  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info02a\\_1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info02a_1.pdf) (2013 年 2 月 22 日アクセス可能).  
イ World Health Organization. Infant and Young Child Nutrition: Global Strategy on Infant and Young Child Feeding. Report by the Secretariat. 2002. [http://apps.who.int/gb/archive/pdf\\_files/WHA55/ea5515.pdf](http://apps.who.int/gb/archive/pdf_files/WHA55/ea5515.pdf) (2013 年 2 月 22 日アクセス可能).

※以上の執筆要項は「体育学研究」投稿の手引き (オンライン用) を参考にしました。  
なお、「別表 2」については、日本公衆衛生雑誌投稿規程を参考にしました。